

口ケツトの模型を
発射台に設置する
生徒たち



学んだ口ケツト理論実践

秀峰中工學特別講座

松本市埋橋2の松秀峰中等教育学校はこのほど、同市新村の松本大学グラウンドでロケット工学特別講座を開いた。4年生15人が、埼玉県のNPO法人・日本モデルロケット協会長の山田誠さんの指導で、ロケットの模型を作つて飛ばし、構造や発射の仕組みについて学んだ。

講座では、教材用の
直径2・5センチ、長さ30

グラウンドに発射台を置いて、実際に打ち上げた。生徒たちは自作のロケットが真っすぐ飛んで風に流れないようにするため、風向きを確かめて機体の角度を決めて装着した。発射ボタンを

科学技術振興機構の
教育支援事業として開
催された。受講者は7
月に茨城県のJAXA
筑波宇宙センターを見
学する。

她的「モデルロケット」を作った。本体にパラシュートや火薬エンジンなどを順番通りに詰めて完成させた。

押すと機体は時速18
0キの速さで上空に上
がつた。小林颯介君